アジアのサクランボ市場は2025年も成長を続けるとの報告

FreshFruitPortal　2025年5月12日

IndexBox（市場情報サイト）の最近のレポートは、アジアでのサクランボの需要が今後10年間増加すると予想されるとしている。アジアのサクランボ市場の拡大速度は鈍化すると予測されており、量的な年平均成長率（複利計算。以下同じ）は約2.3%で、2035年までに約210万トンに達すると推定されている。一方、金額ベースの市場価値は約4.5%で成長し、卸売価格は約116億ドルに達すると予想されている。

消費

2024年のアジアのサクランボ消費量は、前年比3.7%増の約170万トンであった。年による顕著な変動はあるものの、平均消費量は過去11年間で年率約3.9%増加した。

2014年以降、消費量は77%以上増加し、2024年にピークに達した。アジアでのサクランボの市場価値は2024年に約71億ドルに達し、前年比15%の増加を示した。

2024年の数量ベースでの主な消費国は、トルコ（63万トン）、中国（48万7千トン）、ウズベキスタン（18万6千トン）で、合わせて約78%を占めた。中国は2013年以降、年率約19.2%と最も急速な消費の伸びを記録した。金額ベースでは、推定37億ドルの中国が首位で、トルコ（18億ドル）とウズベキスタンがそれに続いた。

2024年の1人当たりのサクランボ消費量はトルコ（7.3kg）が最も多く、次いでウズベキスタン（5.2kg）、レバノン（4.7kg）の順であった。中国の消費量は長年にわたって大幅に増加し、高い成長率を維持している。

生産

アジアでは2024年に前年比5.4%減となる約130万トンのサクランボが生産された。2013年からの長期的なトレンドは、年率平均約1.8%の増加を示しているが、成長率の変動が見られる年もある。最も生産の伸びが大きかったのは2015年で、15%増加した。2024年の総生産額は約35億ドルで、年によって変動がある。

トルコの生産量は、アジア全体の半分以上に当たる69万6千トンで、突出して最大の生産国である。ウズベキスタン（21万8千トン）とイラン（12万5千トン）がこれに続く。トルコの生産量は緩やかに成長し（年率3.2%）、一方ウズベキスタンの生産量はより急速に増加（同10.9%）した。イランの生産量は減少した（同-7%）。

2024年のサクランボの平均収量は1ヘクタール当たり約7.3トンで、前年からわずかに低下した。2013年以降、収量は年率平均2%で増加しているが、多少の変動はある。アジアの収穫面積は2023年に過去最大の約18万2千ヘクタールに達し、2024年には前年をわずかに下回る約17万4千ヘクタールであった。

貿易

アジアの2024年のサクランボ輸入量は約53万7千トンで、2023年から23%急増した。総輸入額は約41億ドルで、中国が輸入量の約84%に当たる約45万1千トンを占め、最大の輸入国となっている。その他の主要な輸入国（地域）は、韓国、台湾、イラク等である。

2024年の輸入価格は、1トン当たり平均約7,576ドルで、前年比で約5.5%上昇した。価格水準は国によって異なり、韓国が最も高かった（1トン当たり約9,097ドル）。

アジアのサクランボ輸出量は2024年に大幅に減少した。約14万3千トンが他国向けに出荷され、前年比19.1%の減少となった。しかし、より長期的に見ると輸出は以前に比べて急激に増加しており、2020年には18万3千トンのピークに達した。2024年の輸出額は約3億3千万ドルであった。

トルコ（約6万7千トン）が主な輸出国で総輸出量の約47%を占め、ウズベキスタンとアゼルバイジャンがそれに続いた。2024年の輸出価格は1トン当たり平均約2,311ドルで、前年比20%上昇したが、その傾向は時間の経過とともにある程度の変動を示している。